



アドビシステムズ社、 Yellow Dragon Software 社の買収で XML に対する取り組みを拡大

買収した技術資産によって Adobe の Intelligent Document Platform における ebXML のネイティブサポートを実現し、企業間のコラボレーションを効率化

【2003 年 11 月 13 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2003 年 11 月 10 日）（NASDAQ:ADBE）Adobe Systems Incorporated（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ 以下アドビシステムズ社）は本日、XML のメッセージングとメタデータ管理ソフトウェアを開発する Yellow Dragon Software 社の技術資産を買収したと発表しました。今回の買収によってもたらされる技術は、アドビシステムズ社の XML アーキテクチャを一層強化します。アドビシステムズ社の XML アーキテクチャは、企業や政府に対し、XML の強力なデータ/ビジネスロジック能力と Adobe® PDF(Portable Document Format) が備える豊かな表現力および強化されたセキュリティ機能の統合を可能とします。

Yellow Dragon 社（本社：カナダ・ブリティッシュコロンビア州バンクーバー）は、XML メッセージをサーバ間で確実に配信する、XML レジストリを用いた ebXML (Electronic Business eXtensible Markup Language) ソリューションと、メッセージング製品を提供しています。ebXML 仕様は、XML による電子ビジネスデータの交換を一貫した仕組みで実現するための技術フレームワークです。Adobe Intelligent Document Platform と PDF で ebXML トランザクションをネイティブサポートすることにより、アドビシステムズ社は、企業がオープンスタンダードを用いて対外ビジネスプロセスを簡単にすばやく自動化し、投資を短期に回収することを可能にします。アドビシステムズ社は来年、自社のサーバ製品にこの技術を統合する予定です。

アドビシステムズ社の上級副社長 アイヴァン クーン (Ivan Koon) は、「Yellow Dragon 社の買収は、Adobe Intelligent Document Platform を大幅に拡充するものです。Yellow Dragon 社の技術によって、アドビシステムズ社は、ここ 2、3 年のうちに政府や企業が必須条件として採用するであろう XML 機能を提供できると確信しています。また、技術だけでなく、アドビシステムズ社は、XML 規格の分野で活躍し、ebXML の策定にも尽力した Yellow Dragon 社の経験豊富なエンジニアを迎え入れ、ノウハウをも取り入れられることも有益と考えます」と述べています。

Yellow Dragon 社の共同創設者で執行副社長を務める Duane Nickull 氏は、「当社の中核チームは、XML 規格の策定に当初から参加してきました。ドキュメントサービスに対する市場のニーズが高まる中、アドビシステムズ社のチームに加わることで、我々の XML 技術がさらに幅広く採用されていくものと考えています。これからも顧客がドキュメントに関して抱える問題を解消する新しい技術を開発していきます」と述べています。

UN/CEFACT（貿易簡易化と電子ビジネスのための国連センター）および OASIS (Organization for the Advancement of Structured Information Standards) が推進する ebXML は、XML のオープンかつ国際的な仕様であり、ビジネスメッセージの交換、取引

関係の管理、共通の言語によるデータ通信、ビジネスプロセスの定義と登録のための、標準的な手法を提供するものです。ebXML規格は、世界中の政府やメーカーに幅広く採用されています。

アドビシステムズ社は、今回の買収が同社の財務内容に大きな影響を及ぼすことはないことを確信しています。

将来的観測に基づく記述について

本プレスリリースは、実際の業績を大幅に異ならせる可能性のあるリスクと不確実性を内包した、売上、戦略、目的、見通し、および製品リリースに関する将来的観測を含みます。そのような原因となり得る要素として、以下が挙げられますが、必ずしもこれらに限られるものではありません。

- ・ 会社がビジネスを行っている主要地域での経済的、政治的環境
- ・ 既存の、または新たな競合他社による新製品の市場投入
- ・ 新製品や既存の製品の新しいバージョンの開発や出荷の遅延
- ・ 展開中の戦略的提携に伴う困難
- ・ エンタープライズ、政府、クリエイティブ プロフェッショナル市場を含む新たな市場、ビジネスモデルに参入する際に伴う困難
- ・ 流通経路の変更
- ・ 主要な人材を集め、維持することができないこと
- ・ 新製品や既存の製品の新しいバージョンに対する需要の減退
- ・ アプリケーションソフトウェア、コンピュータおよびプリンタ需要の変動
- ・ 販売価格の調整
- ・ 知的財産に関する紛争、訴訟
- ・ 業界の新しいビジネスモデルへの移行
- ・ ロイヤリティや知的財産に関するライセンス契約内容の再交渉または解約
- ・ 会計基準の変更
- ・ 会社の株式投資に伴う市場リスク

これらおよびその他のリスクと不確実性についての解説は、当社が証券取引委員会（SEC）に提出した、2002年度年次決算報告書（Form10-K）および2003年度四半期決算報告書（Form10-Q）等の書類をご参照下さい。アドビシステムズ社はこれら将来的観測を更新する義務を負うものではありません。

Yellow Dragon Software 社について

Yellow Dragon Software 社は、ebXML や各種 Web サービスを含む Service Oriented Architecture (SOA) 向けに、メッセージング/メタデータの管理用ソフトウェアを提供しています。同社は ebXML コミュニティで積極的に活動しており、従業員は W3C、OASIS、UN/CEFACT、OAG における標準化作業で重要な役割を果たしています。本社所在地はカナダのブリティッシュコロンビア州バンクーバーです。Yellow Dragon Software 社および ebXML に関する情報は、<http://www.adobe.com/enterprise/xml/ebxml.html> をご覧ください。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、人々のそして企業間のコミュニケーションをより豊かにするために、業界をリードするデジタルイメージング、デザインならびにドキュメント技術のプラットフォームを、一般ユーザ、法人ユーザおよびクリエイティブプロフェッショナル向けに提供しています。アドビ システムズ社の 2002 年度の売上は 10 億米ドル超でした。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.co.jp/> でご覧いただけます。